

平成 24 年 11 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社トリケミカル研究所  
 (コード番号：4369)  
 本社所在地 山梨県上野原市上野原 8154 番地 217  
 代 表 者 代表取締役社長 斎藤 隆  
 問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 砂越 豊  
 電 話 番 号 0554-63-6600(代表)  
 U R L <http://www.trichemical.com>

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 3 月 15 日に公表した平成 25 年 1 月期(平成 24 年 2 月 1 日 ～ 平成 25 年 1 月 31 日)の業績予想及び平成 25 年 1 月期の期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 25 年 1 月期通期業績予想数値の修正(平成 24 年 2 月 1 日 ～ 平成 25 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	150	136	100	円 銭 13.97
今 回 修 正 予 想 (B)	3,250	12	14	△8	△1.12
増 減 額 (B-A)	△750	△138	△122	△108	△15.09
増 減 率 (%)	△18.8	△92.0	△89.7	—	—

※当社は、平成24年1月期は連結業績を開示しておりましたが、当期より非連結での業績を開示しております。  
 そのため、前期実績については記載しておりません。

2 配当予想の修正

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前 回 発 表 予 想	—	0 円 00 銭	—	3 円 00 銭	3 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	—	—	0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績	—	0 円 00 銭	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 24 年 1 月期)	—	0 円 00 銭	—	3 円 00 銭	3 円 00 銭

### 3 業績予想修正の理由

売上高につきましては、太陽電池業界における製品供給過多による在庫の増加に伴い、製品価格の大幅な下落や急激な生産調整が進んでいるため、この状況を受けた当社の太陽電池向け材料の出荷も低迷を続けております。

また、当社の主要な取引先であります半導体業界におきましても、スマートフォンやタブレット端末関連等、好調な分野もある一方、テレビ・パソコンなどの市場が引き続き低迷していることにより、設備投資の抑制や生産調整の実施、さらには構造改革への取り組みの加速等、総じて厳しい事業環境下で推移しており、今後の業界動向に関しましても徐々に慎重な見方が強くなってきていることから、太陽電池向け材料の落ち込みをカバーすることは困難であると考えております。

一方、利益面につきましても、投資の見直し、経費削減等に取り組むことにより業績の向上に努めてまいりますが、売上高の減少による影響を吸収しきれない見込みとなりました。一方で、第2四半期において、顧客より当社の販売した製品の不具合に対する損害賠償請求があり、協議の結果、損害賠償金52百万円を支払う事で合意し、同額を特別損失として計上いたしました。

これらの結果、売上高は前回予想を750百万円下回り3,250百万円、営業利益は前回予想を138百万円下回り12百万円、経常利益は前回予想を122百万円下回り14百万円、当期純利益は前回予想を108百万円下回り8百万円の損失となる見込みとなりました。

以上のとおり、前回公表予想数値を下回る見通しとなったため、通期業績予想を修正いたします。

なお、当社は製造物損害賠償責任に関する保険に加入しており、本件に対しましても、損害賠償保険の適用につき交渉を行っておりますが、現時点での保険給付の可否及び保険給付額については確定していないため、上記特別損失の金額には、本件に対する損害賠償保険の保険給付額を加味しておりません。

### 4 配当予想修正の理由

当社は、将来にわたる株主価値増大のために内部留保を充実させ、事業の積極展開・体質強化を図るとともに、株主への安定した配当を維持することを利益配分の基本方針とする一方、配当に関する方針として、毎年の当期純利益の約15%の配当性向を維持したいと考えております。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、今回の業績予想修正に伴い、平成25年1月期の当期純利益が前回予想の100百万円から△8百万円になることが見込まれるため、上記方針に基づき、業績および財務状況等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら配当を見送らせていただくことといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の復配に向け、更なる経営努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

以上

上記の通期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。